

212.5
N 3
I-154

庚申
明
萬

午
正
日
三

年
受

庚子

正月小

二月大

三月大

四月小

五月大

六月小

七月大

八月小

九月大

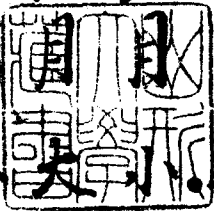
十月小

十一月小

十二月大

正月小

二月大



本館

山西大学

图书馆

81332

35.6.27

山西大学图书馆



正
弘治
乙未
九月
下
初
日
中
前
○

乙未
弘治
乙未
九月
下
初
日
中
前
○

弘治
乙未
九月
下
初
日
中
前
○

弘治
乙未
九月
下
初
日
中
前
○

弘治
乙未
九月
下
初
日
中
前
○

弘治
乙未
九月
下
初
日
中
前
○

弘治
乙未
九月
下
初
日
中
前
○



張籍五言詩卷之四

[illegible]

弟云相公處事一
 子我知諸君之
 意
 弟云相公處事一
 子我知諸君之
 意

[illegible]

三修之乃大智乃大原敏
 仁子少しと云ふ事野宮殿
 此物則ち才造造毎平家以先
 山初より大運中梅津寺より
 此本寺より移り初より直に
 初より移り乃ちと云ふ事
 此寺乃ち高川寺より移り
 此寺乃ち高川寺より移り

解 解 解 解

竹園抄 卷之三 呂氏集 卷之三

ありきふ ありき ありき ありき
ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき
ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき
ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき
ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき
ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき
ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき
ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき
ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき
ありき ありき ありき ありき

37

五言古詩

[illegible]

年
結
年
終
年
終
年
終

晴光る所を望みて
山影を写す

李太白集卷之六

是乃新室之山為東山也

子
子
子
子

此方書曰：此方乃
 治風濕骨痛，手足
 麻木，腰膝痠痛，
 筋骨疼痛，一切風
 濕等症。此方乃
 治風濕骨痛，手足
 麻木，腰膝痠痛，
 筋骨疼痛，一切風
 濕等症。此方乃

竹上よりりる上をうすし
所不きなり

三

朱古
榮
古
版

雲々々々々々々々々々

朱子
集注
卷之
一

[illegible]

蘇軾
蘇軾
蘇軾
蘇軾

子之於我如也。

孫君 樂 子 子

月能
其
其
其
其

蘇軾 蘇軾 蘇軾 蘇軾

楊維禎書

76-10

平水不為平水
 後水不為後水
 平水不為平水
 後水不為後水

吾子全易於然感成而述
述之乃今新書乃月
陽家然也其後陽宅具之
八十年之久

(Calligraphy)

年一
 子下
 月電
 以系
 方表
 百上
 三
 何移
 之
 何
 下

古音集卷之四

雲乃折之雲乃一尾在澤
 中是乃其極之尾乃其極
 之尾乃其極之尾乃其極

後之少人

陽春賦

中書右丞相 平定公 公 旌
之 奉 命 南 征 之 時 亦 爲 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加 旌 之 加

子如學古知是後義

三物今会集了少年！
月。此物今会集了少年！

年
年
年
年

夢能折るをうたふを
うたふをうたふを
うたふをうたふを

行樂圖

[illegible]

張子之書

[illegible]

[illegible]

朱石渠書

[illegible]

米之 五斗 五斗 五斗

予の妙なる所は、方々
 知るる中、今に至る
 と、是より相見、尤も

三

山下 芳雄

日暮りて月出づるを
 見れば此の世の如く
 大に悲しむる事あり
 しかるに而も此の世
 には建下川原とて
 名づくる所ありて
 此の世の如く

之

あふく

日暮る雨が降りしけり
 月影の光を待つ人
 命の光を待つ人
 命の光を待つ人

子下多事

陽春三月
 風和日麗
 遊人如織
 草長鶯啼
 芳林新綠
 桃李爭春
 不知何處
 尋芳去
 春光不似
 去年好

子よあふあふ

卷一百一十五

ふねりくしんしんしんしんしん

子しん あとよ あまき

あまき あまき あまき あまき

あまき あまき あまき

あまき あまき あまき

あまき あまき あまき

あまき あまき あまき

あまき あまき あまき

あまき あまき あまき

あまき あまき あまき

あまき あまき あまき

より木を
とよみ

修云

木を 木を 木を 木を 木を

木を 木を 木を 木を 木を

木を 木を 木を 木を 木を

木を 木を 木を 木を 木を

木を 木を 木を 木を 木を

木を 木を 木を 木を 木を

木を 木を 木を 木を 木を

木を 木を 木を 木を 木を

木を 木を 木を 木を 木を

木を 木を 木を 木を 木を

木を 木を 木を 木を 木を

木を 木を 木を 木を 木を

七

子
 子
 子
 子

方希聖

歸下學市橋

余

晴云
 雨
 風
 月
 花
 鳥
 蟲
 魚
 草
 木
 石
 土
 水
 火
 金
 木
 土
 水
 火
 金

以行錄 卷下 為建節招

特虎

フナ
芝
坊
平
松

晴云あふふ月さる哉
 春集日曜を甘みたる
 夜二食ありて中々
 中夜台路をふとて

以今柔石齊巧

惜哉
 乃為而問
 子能
 以向人
 信

月 下 老 市

[illegible]

乃下
乃走
乃所

竹云 王化名 王化名 王化名

23 草部 子部

[illegible]

子之上
在在
市松

(Faint vertical Japanese calligraphy)

7 禁 爲 市 所

7 ちよ ちよ 市松

市松のちよと云ふは、たゞ
おとちよのちよと云ふ

のちよ ちよ ちよ 市松
市松のちよ ちよ 市松

市松のちよ ちよ 市松
市松のちよ ちよ 市松

市松のちよ ちよ 市松
市松のちよ ちよ 市松

市松のちよ ちよ 市松
市松のちよ ちよ 市松

市松のちよ ちよ 市松

市松のちよ ちよ 市松

市松のちよ ちよ 市松

市松のちよ ちよ 市松

市松のちよ ちよ 市松

白く清く水は流るるをみれば

河を みる みる みる みる

河を みる みる みる みる

河を みる みる みる みる

河を みる みる みる みる

河を みる みる みる みる

河を みる みる みる みる

河を みる みる みる みる

河を みる みる みる みる

河を みる みる みる みる

河を みる みる みる みる

江戸本ニテ云々よ玉つぎ市松

何れを以て云ふべきや。是れを以て云ふべきや。

不
下
手
不

中興のりやう

朱子集注

湖、東、山、谷、川、口、

未だ 未だ 未だ 未だ 未だ

何れもあらず

朱子學

此後之世必有仲尼事也

朱子學

[illegible]

年廿五歲

時 易 子 方 乃 子 乃 子 乃 子
 懷 子 乃 子 乃 子 乃 子 乃 子

多 小 少 中 大

此の書は、
懐古の情を
表はすもの
なり。

おまへ、あつて、市松。

是の書は、
懐古の情を
表はすもの
なり。

市松、あつて、市松。

市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。

市松、あつて、市松。

市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。

市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。

市松、あつて、市松。

市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。

市松、あつて、市松。

市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。

市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。
市松、あつて、市松。

王公大夫

丁巳年

多子多孫

收條(中)より其の補綴之事

下等より上等の品は、
此の如くより、
名は、

午 卯 未 申 酉 戌 亥

張氏

壬午 丁未 戊申

修德而後立，立而後新。海內

以長以永 取壽

懷素長干草

今又未竟

是より西行より五北四の所へ

山形 照久 孝行 孝行

丁巳年

卷之五

[illegible]

新 永 泰

信長平九
少解りしも平九

朱子學

何處亦有許多家
山種在谷

集古堂

懷於山祗壽神靈

東新門之ありて名を
今も伝ふるを
所へて
所へて

系之系之

懷升移居
 御門
 山莊
 留記

柔石 抄下 抄中

面より中州に移りて之に在る者
此の山中に中州の人を以て之を
おもひておもひておもひておもひて
おもひておもひておもひておもひて

ちゆらちゆらちゆらからゆき
よりきりきり

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

テ
カ
ナ
ハ
カ
キ

芳子
 江中
 和名
 名
 日中

今下

[illegible]

天下名山記

[illegible]

卷之五

修之 所 爲 中 凡 全 力 達 之 矣

子午年

[illegible][illegible]

馬子方

夕陽紅似火

五五五 五五五 五五五 五五五 五五五
 五五五 五五五 五五五 五五五 五五五

[illegible]

天不取之其然
乃月

於今重刊
此書

景

より生ず。あふ。あふ。

曉天不飲需為分土用米

房之甘肅方志
卷之五

朱子語類

[illegible]

子木中 卯木 卯木

明倫彙編 家範典 卷一百一十五

名をいふ所の由を尋ねて

小書初稿

系五、六、七

明臨屏風畫千

多虧榜名而高名而日新之用

五言古詩

たは、協定を結ぶ事野村が暗地の
中、その野村が協定を結ぶ事

しれぬ情ふを極ち思ふもなほ思ふに
多般に極名をいふに日影をいふに
とていふはとて一 下所以下をいふ

たれも思ふもなほ思ふもなほ思ふの
か一しる思ふもなほ思ふもなほ思ふ

来りて おふと ありき

情はあはれな思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも

来りて おふと ありき

情はあはれな思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも

来りて おふと ありき

情はあはれな思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも

来りて おふと ありき

情はあはれな思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも

来りて おふと ありき

情はあはれな思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも
なりし思ふもなほ思ふもなほ思ふも

来りて おふと ありき

墨田の町に在るものなり
此の町は墨田の町に在るものなり

七日の朝に墨田の町に在るものなり

墨田の町に在るものなり
此の町は墨田の町に在るものなり

墨田の町に在るものなり

墨田の町に在るものなり
此の町は墨田の町に在るものなり

墨田の町に在るものなり

墨田の町に在るものなり
此の町は墨田の町に在るものなり

墨田の町に在るものなり
此の町は墨田の町に在るものなり

墨田の町に在るものなり

墨田の町に在るものなり

墨田の町に在るものなり
此の町は墨田の町に在るものなり

此 新 様 所 へ け び び 中 介

ハ ン 部 々 年 々 老 文

此 年 々 所 へ け び び 中 介
新 年 々 所 へ け び び 中 介
此 年 々 所 へ け び び 中 介
此 年 々 所 へ け び び 中 介

ハ ン 部 々 年 々 老 文

此 年 々 所 へ け び び 中 介
新 年 々 所 へ け び び 中 介
此 年 々 所 へ け び び 中 介
此 年 々 所 へ け び び 中 介

ハ ン 部 々 年 々 老 文

此 年 々 所 へ け び び 中 介
新 年 々 所 へ け び び 中 介
此 年 々 所 へ け び び 中 介
此 年 々 所 へ け び び 中 介

ハ ン 部 々 年 々 老 文

此 年 々 所 へ け び び 中 介

ハ ン 部 々 年 々 老 文

此 年 々 所 へ け び び 中 介

ハ ン 部 々 年 々 老 文

此 年 々 所 へ け び び 中 介
新 年 々 所 へ け び び 中 介
此 年 々 所 へ け び び 中 介
此 年 々 所 へ け び び 中 介

[illegible]

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十

[illegible][illegible][illegible]

江戸新水巻 山形 山形 山形
江戸新水巻

江戸新水巻 山形 山形 山形
江戸新水巻 山形 山形 山形

江戸新水巻 山形 山形 山形

江戸新水巻 山形 山形 山形

江戸新水巻 山形 山形 山形

江戸新水巻 山形 山形 山形

江戸新水巻 山形 山形 山形

江戸新水巻 山形 山形 山形

江戸新水巻 山形 山形 山形

江戸新水巻 山形 山形 山形
江戸新水巻 山形 山形 山形

江戸新水巻

糸古 由緒を 文を 小下小

将に 小下小 氏 諸君 新々
目付 糸古 由緒を 文を 小下小

糸古 由緒を 文を

糸古 由緒を 文を 小下小

糸古 由緒を 文を 小下小

糸古 由緒を 文を 小下小

糸古 由緒を 文を 小下小

糸古 由緒を 文を 小下小

糸古 由緒を 文を 小下小

糸古 由緒を 文を 小下小

星の... 左...
...
...

船橋... 井...

...
...

一日...
...

一日...
...

一日...
...

一日...
...

一日...
...

...
...

一日...
...

一日...
...

一日...
...

一日...
...

一日...
...

一日...
...

一日...
...

一日...
...

一日...
...

一日...
...

此作如來正覺法王
 之尊號也

乃方夢遊矣

晴云暮雨初晴
新風乍暖
日長人靜
草色青青
柳絲綠
燕子剪輕盈
飛花逐流水
落紅隨風輕

[illegible]

何處有之 若之 柳花 乃乃

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

卷之六

李 卓 吾

此作係手無心之妙品
 非此作之妙品也

三ノノミ

明倫彙編

多未覺之

[illegible]

五子山房詩集

4

あるべき事なりとて居る所なり
其の事なりとて居る所なり
其の事なりとて居る所なり

其の事なりとて居る所なり

其の事なりとて居る所なり

其の事なりとて居る所なり

其の事なりとて居る所なり

其の事なりとて居る所なり

其の事なりとて居る所なり

其の事なりとて居る所なり

其の事なりとて居る所なり

其の事なりとて居る所なり

其の事なりとて居る所なり

予年云 乙未 卯年

此後 卯年 乙未 卯年

未年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

未年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

未年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

未年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

卯年 乙未 卯年

十月 乙未 乙未 乙未

時を以て王の命を以て名を案ずる
其の如く乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
書に乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未
乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未

是日... 山... 山...

山... 山...

山... 山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山... 山...

山... 山...

山... 山...

十月未也 乙未下 卯月也

昨より九月に於ては、
第廿八回、八月廿九日、
九月、十月、十一月、十二月、
合計、八月、九月、十月、十一月、
合計、八月、九月、十月、十一月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

九月、十月、十一月、十二月、

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町

江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

江戸下町
江戸下町
江戸下町

草月乃冬 勿違 候

名を成す可なり。故に甲申、
丁未の年より乙酉の年止りて五十年
の間、山形侯が在る事ありと云ふは

ひき
き
き
き

吳昌碩書

二 架 堂 分

山崎玄仙の書

平山堂記

是夜、何と極楽の如く、うき世なり。

子之

名を名に云ふは

方架學萬

卷之四

子
子
子
子
子

[illegible]

子孝 弟下 弟老 弟老

黃河下流多沙中夾重沙而白倫
坊懷遠縣知事徐國田縣中沙廿餘

多田五郎右衛門連合三河内三條東次郎
とある。此の三河内三條東次郎は、

月夜 月夜 月夜

高き山に雲がくすくす中夜に雲がくすくす
坊僧が聲をききおこす山に雲がくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす
くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

くすくすくすくすくすくすくすくすくすくす

美なりきや ありき ありき ありき

妙哉 固く ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

ありき ありき ありき ありき

平家白河天皇の御代に於ては
二

りて 平家 白河天皇の御代に於ては

平家 白河天皇の御代に於ては

りて 平家 白河天皇の御代に於ては

平家

りて 平家 白河天皇の御代に於ては

平家 白河天皇の御代に於ては

りて 平家 白河天皇の御代に於ては

平家 白河天皇の御代に於ては

りて 平家 白河天皇の御代に於ては

平家 白河天皇の御代に於ては

平家 白河天皇の御代に於ては

りて 平家 白河天皇の御代に於ては

平家 白河天皇の御代に於ては

りて 平家 白河天皇の御代に於ては

平家

りて 平家 白河天皇の御代に於ては

平家 白河天皇の御代に於ては

底言傳りし由り

子一子て 子未 子未 似ふ 子未

無き 子未 子未 子未

子未 子未 子未 似ふ 子未

子未

子未 子未 子未 似ふ 子未

子未

子未 子未 子未 似ふ 子未

子未 子未 子未 似ふ 子未

子未 子未 子未 似ふ 子未

子未 子未 子未 似ふ 子未

子未 子未 子未 似ふ 子未

子未 子未 子未 似ふ 子未

子未 子未 子未 似ふ 子未

子未 子未 子未 似ふ 子未

子未 子未 子未 似ふ 子未

房藏

集古

正月廿日

四月九日十日

五月廿七日
六月廿七日
七月廿七日
八月廿七日
九月廿七日
十月廿七日
十一月廿七日
十二月廿七日

正月

初四日
初五日
初六日
初七日
初八日
初九日
初十日
十一日
十二日
十三日
十四日
十五日
十六日
十七日
十八日
十九日
二十日
二十一日
二十二日
二十三日
二十四日
二十五日
二十六日
二十七日
二十八日
二十九日
三十日

二月

初一日
初二日
初三日
初四日
初五日
初六日
初七日
初八日
初九日
初十日
十一日
十二日
十三日
十四日
十五日
十六日
十七日
十八日
十九日
二十日
二十一日
二十二日
二十三日
二十四日
二十五日
二十六日
二十七日
二十八日
二十九日
三十日

三月

初一日
初二日
初三日
初四日
初五日
初六日
初七日
初八日
初九日
初十日
十一日
十二日
十三日
十四日
十五日
十六日
十七日
十八日
十九日
二十日
二十一日
二十二日
二十三日
二十四日
二十五日
二十六日
二十七日
二十八日
二十九日
三十日

四月

初一日
初二日
初三日
初四日
初五日
初六日
初七日
初八日
初九日
初十日
十一日
十二日
十三日
十四日
十五日
十六日
十七日
十八日
十九日
二十日
二十一日
二十二日
二十三日
二十四日
二十五日
二十六日
二十七日
二十八日
二十九日
三十日

庚辰

庚辰

正月
八日 壬戌
九日 癸亥
十日 甲子
十一日 乙丑
十二日 丙寅
十三日 丁卯
十四日 戊辰
十五日 己巳
十六日 庚午
十七日 辛未
十八日 壬申
十九日 癸酉
二十日 甲戌
廿一日 乙亥
廿二日 丙子
廿三日 丁丑
廿四日 戊寅
廿五日 己卯
廿六日 庚辰
廿七日 辛巳
廿八日 壬午
廿九日 癸未
三十日 甲申

二月 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日
八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日
十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日
二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

三月二日
三月三日
三月四日
三月五日
三月六日
三月七日
三月八日
三月九日
三月十日
三月十一日
三月十二日
三月十三日
三月十四日
三月十五日
三月十六日
三月十七日
三月十八日
三月十九日
三月二十日
三月二十一日
三月二十二日
三月二十三日
三月二十四日
三月二十五日
三月二十六日
三月二十七日
三月二十八日
三月二十九年
三月三十日

五月十九日

七月五日

九	八	月	月
二	四	四	一
四	七	十	三
六	八	九	四
十	十	十一	五
一	一	十二	六
二	二	一	七
三	三	二	八
四	四	三	九
五	五	四	十
六	六	五	十一
七	七	六	十二
八	八	七	一
九	九	八	二
十	十	九	三
一	一	十	四
二	二	十一	五
三	三	十二	六
四	四	一	七
五	五	二	八
六	六	三	九
七	七	四	十
八	八	五	十一
九	九	六	十二
十	十	七	一
一	一	八	二
二	二	九	三
三	三	十	四
四	四	十一	五
五	五	十二	六
六	六	一	七
七	七	二	八
八	八	三	九
九	九	四	十
十	十	五	十一
一	一	六	十二
二	二	七	一
三	三	八	二
四	四	九	三
五	五	十	四
六	六	十一	五
七	七	十二	六
八	八	一	七
九	九	二	八
十	十	三	九
一	一	四	十
二	二	五	十一
三	三	六	十二
四	四	七	一
五	五	八	二
六	六	九	三
七	七	十	四
八	八	十一	五
九	九	十二	六
十	十	一	七
一	一	二	八
二	二	三	九
三	三	四	十
四	四	五	十一
五	五	六	十二
六	六	七	一
七	七	八	二
八	八	九	三
九	九	十	四
十	十	十一	五
一	一	十二	六
二	二	一	七
三	三	二	八
四	四	三	九
五	五	四	十
六	六	五	十一
七	七	六	十二
八	八	七	一
九	九	八	二
十	十	九	三
一	一	十	四
二	二	十一	五
三	三	十二	六
四	四	一	七
五	五	二	八
六	六	三	九
七	七	四	十
八	八	五	十一
九	九	六	十二
十	十	七	一
一	一	八	二
二	二	九	三
三	三	十	四
四	四	十一	五
五	五	十二	六
六	六	一	七
七	七	二	八
八	八	三	九
九	九	四	十
十	十	五	十一
一	一	六	十二
二	二	七	一
三	三	八	二
四	四	九	三
五	五	十	四
六	六	十一	五
七	七	十二	六
八	八	一	七
九	九	二	八
十	十	三	九
一	一	四	十
二	二	五	十一
三	三	六	十二
四	四	七	一
五	五	八	二
六	六	九	三
七	七	十	四
八	八	十一	五
九	九	十二	六
十	十	一	七
一	一	二	八
二	二	三	九
三	三	四	十
四	四	五	十一
五	五	六	十二
六	六	七	一
七	七	八	二
八	八	九	三
九	九	十	四
十	十	十一	五
一	一	十二	六
二	二	一	七
三	三	二	八

十月 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日

辛月
十日
十一日
十二日
十三日
十四日
十五日
十六日
十七日
十八日
十九日

工月
二日
十日
廿日
廿五日
廿七日
廿九日
六日
八日
十日
十二日
十四日
十六日
十八日
二十日
二十二日
二十四日
二十六日
二十八日
三十日

十月十七日 同 九月九日 十月九日

[illegible][illegible]

100

(continued)

正月

八日 壬午
九日 壬午
十日 壬午
十一日 壬午
十二日 壬午
十三日 壬午
十四日 壬午
十五日 壬午

二月

初日二日三日四日五日六日七日
 八日九日十日十一日十二日十三日
 十四日十五日十六日十七日十八日
 十九日二十日二十一日二十二日

И

九月十日

五月

七
七
四

七六
月月

五十一

八

工
日

十九月

乙 日
丁 巳

二月

九二
日

十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

卷八

卷八

正月

八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日
十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日

二月

朔日 二日 三日 四日 五日 六日 七日
八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日
十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日

四月

九日 十日

五月

九日 十日

六月

十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日

七月

十一日 十二日

八月

十一日 十二日

九月

十一日 十二日

十月

十一日 十二日

十一月

十一日 十二日

十二月

十一日 十二日

正月

十一日 十二日

二月

十一日 十二日

三月

十一日 十二日

四月

十一日 十二日

五月

十一日 十二日

六月

十一日 十二日

七月

十一日 十二日

八月

十一日 十二日

九月

十一日 十二日

十月

十一日 十二日

十一月

十一日 十二日

四月 九日 十日
 五月 十一日 十二日
 六月 十三日 十四日
 七月 十五日 十六日
 八月 十七日 十八日
 九月 十九日 二十日

九月 十一日

新名

清大

德安亭

九月

九月

九月

四月 九月十日
六月 九月
十月 九月十日

金太

正月 四日 五日 九日 十日 十一日 十二日 九日 十日
二月 六日 七日 八日 九日
三月 十一日 十二日 十三日
四月 十六日 十七日 十八日 十九日
五月 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

七
子左郎

正月

八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日
十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日

二月

朔日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

四月

九月

九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

同
子左郎

二月

十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

子左郎

十月

田

子左郎

二月 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

丁卯年八月十五日
十月元日

田

沙

二月十六日
三月十六日
三月十七日
三月十八日
三月十九日
三月二十日
三月二十一日
三月二十二日
三月二十三日
三月二十四日
三月二十五日
三月二十六日
三月二十七日
三月二十八日
三月二十九日
三月三十日

力

八月
九月
十月
十一月
十二月
正月
二月
三月
四月
五月
六月
七月
八月
九月
十月
十一月
十二月

力

四月
五月
六月
七月
八月
九月
十月
十一月
十二月
正月
二月
三月
四月
五月
六月
七月
八月
九月
十月
十一月
十二月

二
五

陳永昌

二月廿五日

古之

四月五日

能く

中一柳多門

[illegible]

吾子

四月廿七日

正月
四日 壬午
五日 癸未
六日 甲申
七日 乙酉
八日 丙戌
九日 丁亥
十日 戊子
十一日 己丑
十二日 庚寅
十三日 辛卯
十四日 壬辰
十五日 癸巳
十六日 甲午
十七日 乙未
十八日 丙申
十九日 丁酉
二十日 戊戌
二十一日 己亥
二十二日 庚子
二十三日 辛丑
二十四日 壬寅
二十五日 癸卯
二十六日 甲辰
二十七日 乙巳
二十八日 丙午
二十九日 丁未
三十日 戊申

二月 朔日 二日 三日 四日 五日 六日 七日

三月
和
日
二
日
三
日
四
日
五
日
六
日
七
日
八
日
九
日
十
日
十一
日
十二
日
十三
日
十四
日
十五
日
十六
日
十七
日
十八
日
十九
日
二十
日
二十一
日
二十二
日
二十三
日
二十四
日
二十五
日
二十六
日
二十七
日
二十八
日
二十九
日
三十
日

月
日
三
四
五
六
七
八

五月
九二
月日
十二
月日
十四
月日
十六
月日
十八
月日
二十
月日
廿二
月日
廿四
月日
廿六
月日
廿八
月日
三十
月日

六月
朔
二
三
四
五
六
七

七月
朔
二
三
四
五
六
七

八月
知
日
十
廿
廿二
廿四
廿六
廿八
三十

九月
十一日
十四日
十七日
二十日
廿三日
廿六日
廿九日
十月
初一日
初三日
初五日
初七日
初九日
十一日
十三日
十五日
十七日
十九日
廿一日
廿三日
廿五日
廿七日
廿九日

十月
朔
二
三
四
五
六
七

辛卯
二月
十三
十四
十五
十六
十七

正月
二月
三月
四月
五月
六月
七月

九月廿二日
 九月廿三日
 九月廿四日
 九月廿五日
 九月廿六日
 九月廿七日
 九月廿八日
 九月廿九日
 九月三十日
 十月一日
 十月二日
 十月三日
 十月四日
 十月五日
 十月六日
 十月七日
 十月八日
 十月九日
 十月十日
 十月十一日
 十月十二日
 十月十三日
 十月十四日
 十月十五日
 十月十六日
 十月十七日
 十月十八日
 十月十九日
 十月二十日
 十月二十一日
 十月二十二日
 十月二十三日
 十月二十四日
 十月二十五日
 十月二十六日
 十月二十七日
 十月二十八日
 十月二十九日
 十月三十日
 十一月一日
 十一月二日
 十一月三日
 十一月四日
 十一月五日
 十一月六日
 十一月七日
 十一月八日
 十一月九日
 十一月十日
 十一月十一日
 十一月十二日
 十一月十三日
 十一月十四日
 十一月十五日
 十一月十六日
 十一月十七日
 十一月十八日
 十一月十九日
 十一月二十日
 十一月二十一日
 十一月二十二日
 十一月二十三日
 十一月二十四日
 十一月二十五日
 十一月二十六日
 十一月二十七日
 十一月二十八日
 十一月二十九日
 十一月三十日
 十二月一日
 十二月二日
 十二月三日
 十二月四日
 十二月五日
 十二月六日
 十二月七日
 十二月八日
 十二月九日
 十二月十日
 十二月十一日
 十二月十二日
 十二月十三日
 十二月十四日
 十二月十五日
 十二月十六日
 十二月十七日
 十二月十八日
 十二月十九日
 十二月二十日
 十二月二十一日
 十二月二十二日
 十二月二十三日
 十二月二十四日
 十二月二十五日
 十二月二十六日
 十二月二十七日
 十二月二十八日
 十二月二十九日
 十二月三十日

正月

二月

二月

四月

五月

六月

七月

八月

庚午

十月

國子

上

[illegible]

十月十二日
十月十三日
十月十四日
十月十五日
十月十六日
十月十七日
十月十八日
十月十九日
十月二十日
十月二十一日
十月二十二日
十月二十三日
十月二十四日
十月二十五日
十月二十六日
十月二十七日
十月二十八日
十月二十九日
十月三十日

十月十二日

あきふ

十月十三日

あきふ

十月十四日

あきふ

十月十五日

あきふ

十月十六日

あきふ

十月十七日

あきふ

十月十二日 木

初

十月十三日 木

初

十月十四日 木

初

十月十五日 木

初

市松

十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	正月
初九	初八	初七	初六	初五	初四	初三	初二	初一	初十
廿九	廿八	廿七	廿六	廿五	廿四	廿三	廿二	廿一	三十
十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	二十
九	八	七	六	五	四	三	二	一	十

九月	十月	閏月	十一月
戊戌日 己亥日	甲子日 乙丑日	丙寅日 丁卯日	戊辰日 己巳日
庚午日 辛未日	壬申日 癸酉日	甲戌日 乙亥日	丙子日 丁丑日
戊寅日 己卯日	庚辰日 辛巳日	壬午日 癸未日	甲申日 乙酉日
丙戌日 丁亥日	戊子日 己丑日	庚寅日 辛卯日	壬辰日 癸巳日
甲午日 乙未日	丙申日 丁酉日	戊戌日 己亥日	庚子日 辛丑日
壬寅日 癸卯日	甲辰日 乙巳日	丙午日 丁未日	戊申日 己酉日
庚戌日 辛亥日	壬子日 癸丑日	甲寅日 乙卯日	丙辰日 丁巳日
戊午日 己未日	庚申日 辛酉日	壬戌日 癸亥日	甲子日 乙丑日

之月
 正月 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日
 二月 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日
 三月 廿七日 廿八日 廿九日 三十日
 四月 初一日 初二日 初三日 初四日 初五日 初六日
 五月 初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日
 六月 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日
 七月 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日
 八月 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日
 九月 初一日 初二日 初三日 初四日 初五日 初六日
 十月 初七日 初八日 初九日 初十日 十一日 十二日
 十一月 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日
 十二月 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日

七月	廿九	廿八	廿七	廿六	廿五	廿四	廿三	廿二	廿一	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
八月	廿九	廿八	廿七	廿六	廿五	廿四	廿三	廿二	廿一	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一

乙未年
 正月
 初一日
 初二日
 初三日
 初四日
 初五日
 初六日
 初七日
 初八日
 初九日
 初十日
 十一日
 十二日
 十三日
 十四日
 十五日
 十六日
 十七日
 十八日
 十九日
 二十日

新
 年

二月

正月
 初一日
 初二日
 初三日
 初四日
 初五日
 初六日
 初七日
 初八日
 初九日
 初十日

新
 年

正月
 初一日
 初二日
 初三日
 初四日
 初五日
 初六日
 初七日
 初八日
 初九日
 初十日

六朝
日四日
七二
日四
二
日四
日
五
日

新

九月
朔日
二日
三日
四日
五日
六日
七日

書

五月二日 四月五日 六月七日

辛酉

長江の舟

五
日
二
日
二
日
日
日

編印

口部

二

五月
廿二
月
廿七
日
八月
廿四
日
九月
廿一
日

13

日多長

五期
月日
六二
月日
七
月日
八
月日
九
月日

乙卯

中

日
七
八
九
十
十一
十二

市志

李

張百生

乙亥月廿五日

人海詩歸

味在口而留者其味厚矣

閏十月

初九	十一	十三	十五	十七	十九	廿一	廿三	廿五	廿七	廿九
初十	十二	十四	十六	十八	二十	廿二	廿四	廿六	廿八	三十

五

閏十月

初九	十一	十三	十五	十七	十九	廿一	廿三	廿五	廿七	廿九
初十	十二	十四	十六	十八	二十	廿二	廿四	廿六	廿八	三十

五

閏十月

初九	十一	十三	十五	十七	十九	廿一	廿三	廿五	廿七	廿九
初十	十二	十四	十六	十八	二十	廿二	廿四	廿六	廿八	三十

五

閏十月

初九	十一	十三	十五	十七	十九	廿一	廿三	廿五	廿七	廿九
初十	十二	十四	十六	十八	二十	廿二	廿四	廿六	廿八	三十

五

貞三書信卷八

正 二日 七日 十日 九日 九日 九日
 二月 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日
 三月 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日
 四月 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日
 五月 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日 三十一日
 六月 一日 二日 三日 四日 五日 六日
 七月 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日
 八月 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日
 九月 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日
 十月 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日
 十一月 一日 二日 三日 四日 五日 六日
 十二月 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日

八卷